

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

〔一〕国語 次の文章は、コミュニケーションの進化について述べられた文章の一部である。この文章を読んで、(一)～(五)の問いに答えなさい。なお、文中の ① ～ ⑤ は段落の番号である。

① ヒトの社会行動には類人猿以上に対面交渉が登場する。あいさつは言うにおよばず、会話そのものが対面交渉の一つになっている。音声言語を用いれば対面する必要はないのだが、なぜかヒトは対面して話をしたがる。これは、対面することによって言語には現れない相手の感情や意図を読みとしているからだ。相手を評価しようとするとき、相手を信頼しようとするとき、それは不可欠な情報となる。類人猿から受け継がれてきた対面する姿勢や顔の表情が、ヒトのコミュニケーションにも重要な要素として生かされているのである。

② A、ヒトの身体コミュニケーションには類人猿にはない特徴がある。それは、仲間と並んで一緒に同じことをする、という行為である。乳離れをした子どもがさかんにすることの一つは、自分が発見したものを母親に見てもらおうとすることだ。母親がそれを見ることによって、子どもは大きな満足と安心を感じる。おとなたちの行為も基本的にはこれと変わらない。星を一緒に見る、海を一緒に見る、映画を一緒に見る、という行為を相手と繰り返しながら、かけがえのない仲間意識を確認しあうのがヒトの日常なのだ。もちろんこの行為は視覚だけではなく、聞く、嗅ぐ、味わう、さわるなど、ヒトの五感を通して世界を感知することを仲間とともに行おうとする強い志向性が見て取れるのだ。そこには、相手と対面して同じことをするだけではなく、身体感覚を共有して同じ体験をしたいという仲間意識が見える。これこそがヒトに特有の感情であり、ヒトを集団と固く結びつける動機づけとなっているのである。

③ B、この特異な感情とその表現は、いったいどのようにしてヒトの進化に現れたのだろうか。マイسنは音楽の重要性を指摘する。ヒトの言語の装置は、歌う装置としてまず真価を発揮したというのである。直立二足歩行によって、弁状喉頭への選択圧がゆるんで声帯の変化が起こり、手や腕が感情を表現できるようになった。類人猿の類像的、全体的、操作的なコミュニケーションが、初期のヒトでは歌や踊りとして表現されるようになったというわけである。そのきっかけとしてマイسنは、母親から乳幼児への発話や子守唄をあげている。このコミュニケーションは、ピッチや休止、繰り返しなどの特徴が文化を超えて共通であり、母子が一時的な感情の世界に入ることを可能にしている。ヒトの赤ん坊はよく泣く。ヒトが体毛を失うようになったとき、赤ん坊をよく地面に下ろさなければならなくなった。離れた赤ん坊を安心させ感情表出の学習を可能にするために、子守唄が必要になったというのである。

④ ヒトが体毛を失ったのがいつの時代かはつきりしていないので、この説の信憑性は確かめようがない。しかし、前提となる環境条件を考えれば、ヒトが完全に森林を出たホモ・エレクトス以降だろうし、言語の装置が完成していることが条件になるなら、ネアンデルタール人以降だろう。この説がまだすいそくの段階であることはたしかだが、原型言語が音楽的な志向や行動様式から出発したのではないかという考えは興味深い。断続的なコミュニケーションである音声言語と違って、身体言語は全体的で継続的なコミュニケーションであり、音楽とよく似ているからである。音楽を作り、聴くのは人間の普遍的な特徴であるし、仲間との協調性や助け合いを促進する効果をもっている。『人間の音楽性』(一九七三年)を著したブラツキングは、身体で音楽を感じることは他者と共鳴できるようになることに最も近いと指摘している。仲間と一緒に音楽作りをすることで、こころや増大感が得られ、自己意識があいまいになって踊りや歌を共有する全員の仲間意識が強調される。このように、自己と他者の境界を喪失させて、自己を集団に同一化させることが音楽の果たした役割だったのかもしれない。

⑤ おそらく、ネアンデルタール人は現代人と同じ感情を持ち、仲間をいたわり、集団に同化する社会性をすでに発達させていただろう。それを彼らは歌や踊りで表現したのかもしれない。彼らはすでに火を支配していた。ネアンデルタール人たちは火を囲んで合唱したのかもしれない。しかし、現代人のように楽器を作ったり、言葉を話すことはなかったのだ。その違いが大きな文化の違いとなって現れ、最終的にせつめつの道へと追いやられることになったに違いない。

※マイسن：考古学者

(一) 部分ア～カのひらがなの部分を漢字で書け。

(二) 線部分①「対面する姿勢や顔の表情」を言い換えている語句を抜き出して、漢字四字で書け。

(三) 空欄 A B に当てはまる語句を次のア～エの中から選んで記号を書け。

アでは イまた ウなお エだが

(四) 線部分②「この特異な感情」とは何か、文章中の言葉を用いて二十四字で書け。

(五) 第④段落を、句読点を含めて八十字～百字で要約せよ。